

個人山行

港北区：小机城址 40m

- ◆日程 2020年8月21日(金)
- ◆メンバー L: WN
- ◆天候 晴 猛暑

草も 花も 雲も 山も

自然観察も猛暑には勝てぬ。草も花も目に入らない。野の草の茎は真つすぐだ。野の草には全部名前がある。

ベッドスクールの子供と永六輔は、草も花も雲も山も笑ってる泣いている歌ってる生きていると言った。そして、「ともだち」の歌が出来た。

小さな草や花に、窓の外に見える雲や山に、子供たちは何を見たのだろう。

コロナが終息したら、カラオケに行きたい。チョットお酒を呑んで、「ともだち」の歌を歌いたい。



「花」 渡辺 豊

笑ってる泣いている歌ってる
花を描いてみた

子どもたちと坂本九

1964年(S39年10月)、全国社会福祉協議会の更井は、現宮城県立西多賀支援学校(ベッドスクール)を視察した。不自由な身体なのに、明るく熱心に勉強する子どもたちの姿に心を動かされた。

ベッドスクールの子供もたちは、歌手・坂本九の大ファンだった。坂本九にベッドスクールの歌を歌ってほしいと希望していた。

「上を向いて歩こう」の作詞者・永六輔に相談した。作KK家・いずみたくも快諾。無償だった。

その後、西多賀の子どもたちから永六輔に、作文・詩をまとめた文集がどっさり届いた。「歌詞をつくる資料に」と。

1964年(S39年12月)、ベッドスクール歌「ともだち」は完成した。レコードは大人気だ。全国のベッドスクールなど福祉施設の子どもたちが聞き入った。昭和40年と昭和47年に坂本九はベッドスクールの子供もたちを訪ねた。

宮城県立西多賀支援学校には、「ともだち」の説明プレートがKNでも掲示してある。

太白山(321m)が近くにある。仙台富士・名取富士とも呼ばれる。初日の出登山には、多くの人でにぎわう。

「ともだち」

歌：坂本九

作詞：永六輔

作曲：いずみたく

君の目の前の 小さな草も
生きている 笑ってる
ホラ 笑ってる
君の目の前の 小さな花も
生きている 泣いている
ホラ 泣いている
君が遠く見る あの雲も山も
生きている 歌ってる
ホラ 歌ってる
ふまれても 折られても
雨風が吹き荒れても
君の目の前の この僕の手に
君の手を かさねよう
ホラ ともだちだ
ホラ 歌おうよ
ホラ ともだちだ

(記：WN)

CT：自宅7:35 - 新横浜公園8:50 - 小机城址11:10 - 自宅13:00